

KORG

KONTROL EDITOR 取扱説明書

NTS-3 kaoss pad kit

はじめに	2
KORG KONTROL EDITOR とは ?	2
使用上のご注意	2
動作環境	2
インストール	3
クイック・スタート	3
KORG KONTROL EDITOR を起動し NTS-3 KAOSS PAD KIT を選択する	3
基本操作方法	4
PROGRAM タブ	4
エフェクト・エディット・ウィンドウ	5
ユーザー・ジェネリック・エフェクト・リスト	6
GLOBAL タブ	7
環境設定	8
メニュー	9
ファイルメニュー	9
編集メニュー	9
転送メニュー	10
ヘルプメニュー	10
トラブル・シューティング	11
起動できない	11
転送に失敗する	11
グローバル・データがファイルに保存されない	11

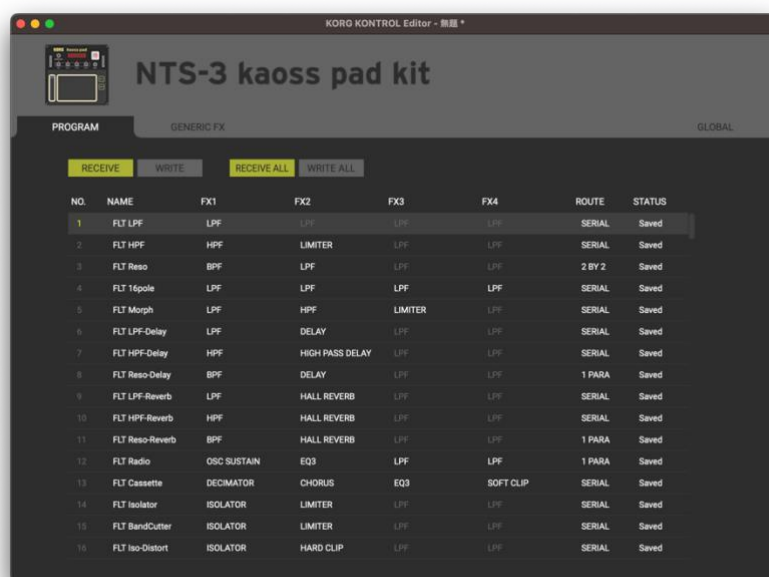
- すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。
- 製品の仕様および外観は、予告なく変更することがあります

はじめに

このたびは、NTS-3 kaoss pad kit をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品を末永くご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読みになって、正しい方法でご使用ください。

KORG KONTROL EDITOR とは？

KORG KONTROL EDITOR は、NTS-3 kaoss pad kit で使うプログラムやユーザー・ジェネリック・エフェクト、グローバル設定を管理することができます。



使用上のご注意

- ⚠ KORG KONTROL EDITOR の起動中は、NTS-3 kaoss pad kit の接続を解除したり、電源をオフにしたりしないでください。
- ⚠ データの転送中は、NTS-3 kaoss pad kit および KORG KONTROL EDITOR を操作しないでください。

動作環境

KORG KONTROL EDITOR で NTS-3 kaoss pad kit を使用するには、動作環境を満たすコンピューターと USB ケーブルが必要になります。

動作環境については KORG KONTROL EDITOR 取扱説明書をご確認ください。

インストール

インストール方法については KORG KONTROL EDITOR 取扱説明書をご覧ください。

クイック・スタート

KORG KONTROL EDITOR を起動し NTS-3 kaoss pad kit を選択する

Windows で KORG KONTROL EDITOR を使用するときは、コルグ・ウェブサイトより KORG USB-MIDI Driver をダウンロードし、付属のドキュメントにしたがってインストールしてください。(korg.com/)

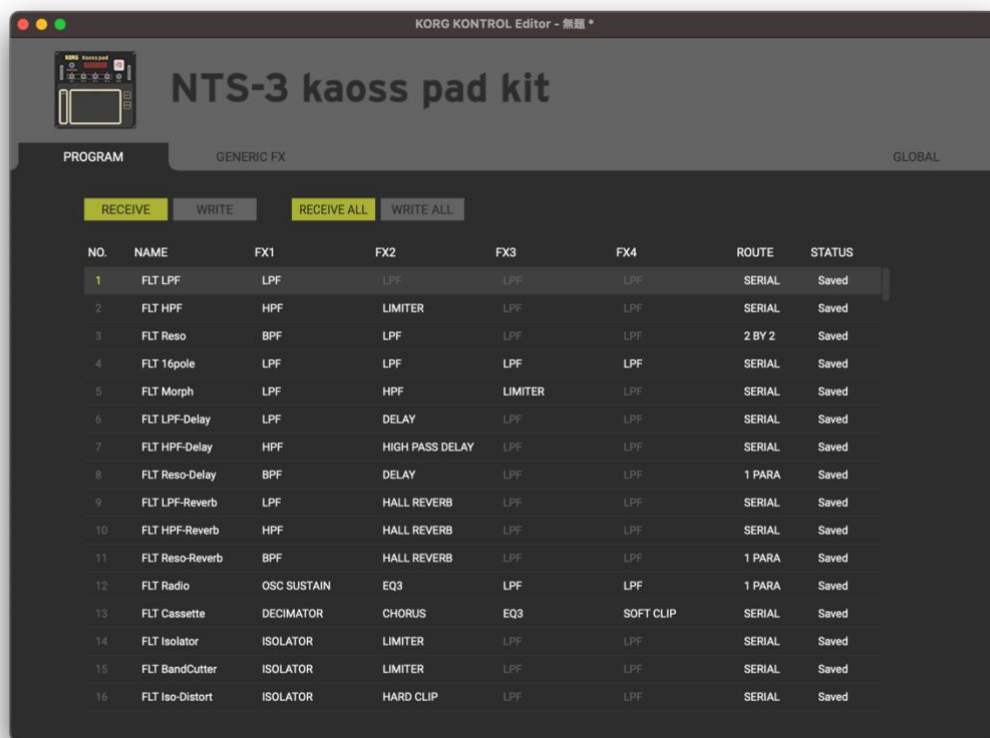
1. USB ケーブルでコンピューターと NTS-3 kaoss pad kit を接続します。
2. KORG KONTROL EDITOR を起動します。
Mac 「KORG KONTROL EDITOR」フォルダーは、「アプリケーション」フォルダーの中にあります。
Windows 「KORG KONTROL EDITOR」フォルダーは、タスクバーの「スタート」-「すべてのアプリ」-「KORG」の中にあります。
3. 接続されているデバイスの一覧が表示されるので、NTS-3 kaoss pad kit を選択します。自動的にプログラム、ユーザー・ジェネリック・エフェクト、グローバル設定のデータが読み込まれます。

基本操作方法

ここでは KORG KONTROL EDITOR(NTS-3 kaoss pad kit)の各画面の機能を説明します。

PROGRAM タブ

KORG KONTROL EDITOR を起動して NTS-3 kaoss pad kit を選択すると表示される画面です。



PROGRAM を本体から読み込む

RECEIVE ボタンを押すと、プログラムリストで選択しているプログラムを NTS-3 kaoss pad kit から読み込みます。
読み込むと本体との状態 (STATUS) が「Saved」に表示が変わり、本体と同期された状態になります。本体のカレントプログラムが編集中の時は「Editing」と表示されます。
本体と現在のプログラムのデータが一致しない場合、赤色の文字に表示が変わります。

RECEIVE ALL ボタンを押すとプログラムリストのすべてのプログラムを読み込みます。

PROGRAM を本体へ書き込む

WRITE ボタンを押すとプログラムリストで選択しているプログラムを NTS-3 kaoss pad kit へ書き込みます。

WRITE ALL ボタンを押すとプログラムリストのすべてのプログラムを書き込みます。

Tip “転送”→“すべてのデータを送信”で 本体にプログラム、ユーザー・ジェネリック・エフェクト、グローバル設定が転送されます。

エフェクト・エディット・ウィンドウ

プログラムリストをダブルクリックすることで表示されるウィンドウです。
この画面では選択中のプログラムのエフェクトのパラメーター設定や機能を本体と同じように扱うことができます。
パラメーター設定や機能を操作すると接続されている本体に反映されます。

- ▲ プログラムリストでプログラムの状態(STATUS)が“Saved”のとき、本体の GLOBAL 設定の“NRPN”が“ON”、GENERIC FX が本体と同期していないとウィンドウは開きません。
- ▲ プログラムリストでプログラムの状態(STATUS)が“Local”のとき、本体と接続されていてもパラメーター設定や機能は本体には反映されません。



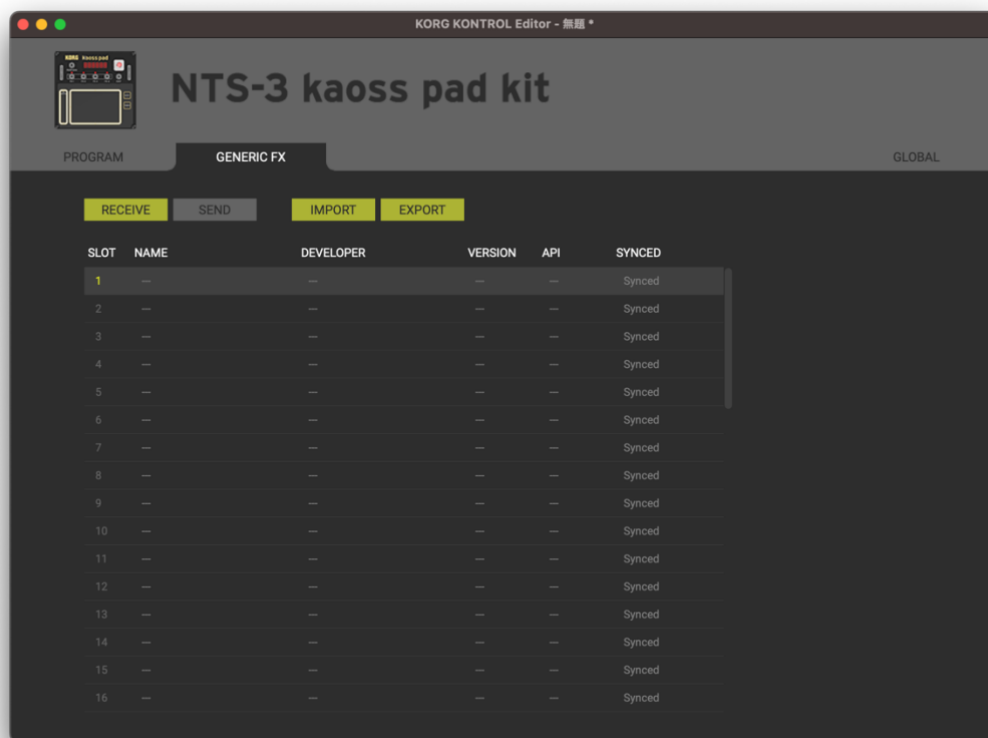
エフェクト・エディット・ウィンドウを閉じる

CLOSE ボタンを押すとエフェクト・エディット・ウィンドウが閉じます。

ユーザー・ジェネリック・エフェクト・リスト

この画面では logue SDK (詳細につきましては https://www.korg.com/jp/products/dj/nts_3/ を御覧ください) を使って作られたユーザー・ジェネリック・エフェクトを並び替えたり、NTS-3 kaoss pad kit 本体に転送することができます。ユーザー・ジェネリック・エフェクトのことをユーザー・ユニットと呼びます。

リストのユーザー・ユニットはエフェクト・エディット・ウインドウの SLOT FX から選択することができます。ユーザー・ユニットが重複している場合、リストの最初のユニットのみ選択できます。

**ユーザー・ユニットをインポートする**

置きたい場所を選択して IMPORT ボタンを押してユーザー・ユニット・ファイル(.nts3unit)を選択します。


“ファイル”→“ユーザー・ユニットをインポート...”で追加することもできます。

ユーザー・ユニット・ファイルをエクスポートする

エクスポートしたいユーザー・ユニットを選択して EXPORT ボタンを押します。

本体のユーザー・ユニットを保存するには本体からユーザー・ユニット・データを受信する必要があります。

“ファイル”→“ユーザー・ユニットをエクスポート...”でエクスポートすることもできます。

 ユーザー・ユニットをエクスポートする場合、共有やコピーに関して、その開発者のライセンス、条項及び条件を確認してください。

ユーザー・ユニットを削除する

“編集”→“クリア”で選択されているユーザー・ユニットを削除できます。

ユーザー・ユニットを並び替える

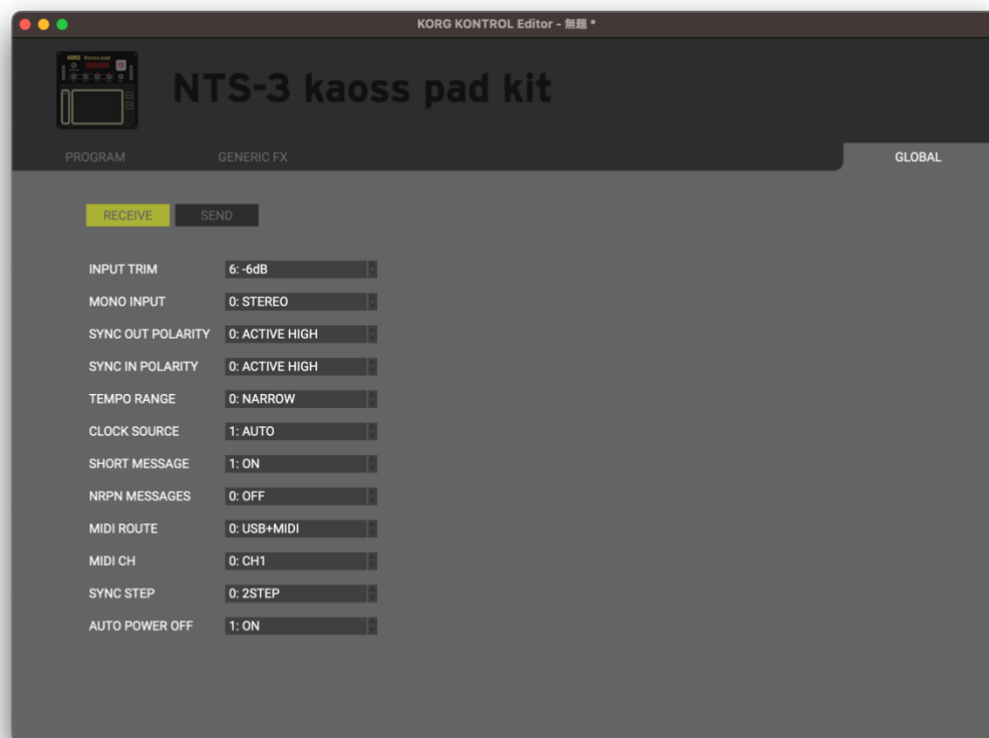
ユーザー・ユニットをドラッグ&ドロップすると並びを変更できます。

Tip 複数の項目を選択し、一度に並び替えることも可能です。

ユーザー・ユニットを NTS-3 kaoss pad kit に転送する

RECEIVE/SEND ボタンでユーザー・ユニットのデータを NTS-3 kaoss pad kit 本体に送受信します。ユーザー・オシレーターとユーザー・エフェクトが転送されます。データの転送が完了すると、本体のユーザー・ユニット・リストが更新されます。

GLOBAL タブでは、NTS-3 kaoss pad kit のグローバル設定を編集できます。



グローバル・データを NTS-3 kaoss pad kit に転送する

RECEIVE/SEND ボタンでグローバル設定のデータを NTS-3 kaoss pad kit 本体に送受信します。

データの転送が完了すると、本体のグローバルの設定が更新されます。

環境設定

「設定」メニューから「環境設定...」を選択すると、環境設定ダイアログが表示されます。



MIDI ポート

MIDI ポートを手動で設定する

デバイス自動検出機能を使用せずに、手動で MIDI ポートを設定するときにオンにします。この設定をオンにしたときは、MIDI IN/OUT ポートにそれぞれ NTS-3 kaoss pad kit が接続されているポートを設定します。

MIDI IN

NTS-3 kaoss pad kit を接続する MIDI IN ポートを指定します。

Tip 通常、NTS-3 kaoss pad kit の「XY/KNOB」ポートを指定します。

MIDI OUT

NTS-3 kaoss pad kit が接続されている MIDI OUT ポートを指定します。

Tip 通常、NTS-3 kaoss pad kit の「SOUND」ポートを指定します。

その他

自動的にデータを読み込む

オンに設定すると、NTS-3 kaoss pad kit から自動的にデータを読み込みます。

オフに設定すると、自動的に読み込まなくなります。

データを書き込みのときに警告

オンに設定すると、NTS-3 kaoss pad kit へデータを書き込む前に警告ダイアログを表示します。

オフに設定すると、警告ダイアログを表示せずに書き込みます。

メニュー

ファイルメニュー

デバイスを選択

デバイス選択画面を開きます。

新規作成

空の NTS-3 kaoss pad kit のワークスペースを作成します。

開く

NTS-3 kaoss pad kit ワークスペース・ファイル(*.nts3 ファイル)を読み込みます。

保存

現在の NTS-3 kaoss pad kit ワークスペースを上書き保存します。

名前をつけて保存

現在の NTS-3 kaoss pad kit ワークスペースを指定した名前で新しいファイルとして保存します。

プログラムを読み込み... (PROGRAM タブのみ)

プログラム・ファイル(*.nts3prog)を読み込みます。

プログラムを保存... (PROGRAM タブのみ)

選択中の LOCAL LIBRARY のプログラムをプログラム・ファイル(*.nts3prog)として保存します。

ユーザー・ユニットを読み込み...(GENERIC FX タブのみ)


ユーザー・ユニット・ファイル(*.nts3unit)を読み込みます。

ユーザー・ユニットの対応するタイプのタブを開いているときは、現在選択している行にロードされます。そうではないときは対応するタイプのタブが選択されて、最初に空いている行にロードされます。

ユーザー・ユニットを保存... (GENERICFX タブのみ)

開いているタブの選択中のユーザー・ユニットをユーザー・ユニット・ファイル(*.nts3unit)としてエクスポートします。

本体のユーザー・ユニットを保存するには本体からユーザー・ユニット・データを受信する必要があります。

 ユーザー・ユニットを含むデータを保存する場合、共有やコピーに関して、その開発者のライセンス、条項及び条件を確認してください。

編集メニュー

元に戻す

ひとつ前の操作を取り消します。

やり直す

「元に戻す」を実行する前の状態に戻します。

クリア

選択したユーザー・ユニットをクリアします。

環境設定

環境設定ダイアログを表示します。

転送メニュー

すべてのデータを受信

NTS-3 kaoss pad kit からすべてのユーザー・ジェネリック・エフェクト、グローバル設定を受信します。

すべてのデータを送信

現在編集集中のすべてのプログラム、ユーザー・ジェネリック・エフェクト、グローバル設定を NTS-3 kaoss pad kit に送信します。

選択中のプログラムを受信 (Program タブのみ)

NTS-3 kaoss pad kit から選択中のプログラムを受信します。

選択中のプログラムを送信 (Program タブのみ)

選択中のプログラムを NTS-3 kaoss pad kit に書き込みます。

すべてのプログラムを受信 (Program タブのみ)

NTS-3 kaoss pad kit からすべてのプログラムを受信します。

すべてのプログラムを送信 (Program タブのみ)

すべてのプログラムを NTS-3 kaoss pad kit に書き込みます。

ユーザー・ユニットを受信 (GENERIC FX タブのみ)

NTS-3 kaoss pad kit から GENERIC FX タブのすべてのユーザー・ユニットを受信します。

ユーザー・ユニットを送信 (GENERIC FX タブのみ)

GENERIC FX タブのすべてのユーザー・ユニットを NTS-3 kaoss pad kit に書き込みます。

グローバル・データを受信 (GLOBAL タブのみ)

NTS-3 kaoss pad kit からグローバル・データを受信します。

グローバル・データを送信 (GLOBAL タブのみ)

グローバル・データを NTS-3 kaoss pad kit に書き込みます。

ヘルプメニュー

バージョン情報

KORG KONTROL EDITOR のバージョン情報を表示します。

トラブル・シューティング

起動できない

- お使いのコンピューターが、動作環境を満たしているか確認してください。
- 他のアプリケーションが起動していると、起動に失敗したり転送に失敗することがあります。失敗した場合は、他のアプリケーションをすべて終了させて、再度動作を確認してください。
- 他の USB 機器が接続されていると、起動に失敗したり転送に失敗することがあります。失敗した場合は他の USB 機器を PC から取り外して、再度動作を確認してください。

転送に失敗する

- 接続したコンピューターに NTS-3 kaoss pad kit が認識されていることを確認してください。
Windows の場合は、コントロールパネルの「ハードウェアとサウンド」→「デバイスマネージャー」の「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー」で確認してください。
Mac の場合は、「アプリケーション」→「ユーティリティ」→「Audio.MIDI 設定」を起動し、「ウィンドウ」メニューから「MIDIスタジオを表示」を選択して開く「MIDIスタジオ」ウィンドウ確認してください。
- Windows で USB 接続している場合は、最新の KORG USB-MIDI Driver がインストールされていることを確認してください。
最新の KORG.USB-MIDI.Driver は、コルグ・ウェブサイトからダウンロードできます。[\(korg.com/\)](http://korg.com/)
- 手動で MIDI ポートを設定しているときは、MIDI ポートの設定が間違っていないか確認してください。
- NTS-3 kaoss pad kit の接続に USB ハブを使用している場合は、USB ハブを使用せず NTS-3 kaoss pad kit をコンピューターに直接接続して、動作を確認してください。

グローバル・データがファイルに保存されない

- メニューから「保存」または「名前をつけて保存...」を使用してワークスペース全体を保存するとグローバル・データが含まれます。